

2014年9月最後の週末の朝、東名高速道路 御殿場インターチェンジを下り、一路仙石原へと車を走らせた。山間部を走っていると、空気も空も夏が終わり秋へとすっかり変わっていったのを肌で感じた。

昨年(2013年4月)は金時山をトレッキングしたので、今年はもう少し南西よりの乙女峠から芦ノ湖までのトレッキングに挑戦した。

乙女口から入山し、数十分後にはゴツゴツとした岩と斜面の傾斜がきつくなり、慣れていない人には行く手を阻むくらいの険しさを感じる。途中下山してくるハイカーとすれ違ったが我々と同じコースをたどるハイカーは見当たらなかった。

歩を進めること40分ほどで乙女峠にたどり着いたが涼しいはずの秋の空気から、すっかり汗ばんでいた。小休止した後、稜線上に沿うようなかたちで途中 丸岳で昼食をとりつつ富士山を眺めた。(写真1)



《写真1》 丸岳山頂から眺める富士山

丸岳からさらに歩き続けて30分過ぎたあたりで長尾峠で小休止。ここからは芦ノ湖(写真2)が望め、トレッキングの目標地点がいよいよ見えてきた。1時間以上、アップダウンを繰り返しながら下っていき、ゴルフコースを掠めながら、ようやく芦ノ湖展望公園にたどり着いた。芦ノ湖の湖面を眺めつつも振り返ると、辿ってきた山々の稜線がきれいに映えていた。そこには何とも言えない達成感があつた。



《写真2》 長尾峠を過ぎたあたりから芦ノ湖を望む

仙石原のとある別荘で、夕食の食材を買い込みつつまずは温泉につかり、1日の疲れを癒した。温泉でしばしの幸福感に包まれつつも、夕食は自分たちで料理したすき焼きで団らん。親睦を深めたトレッキングツアーであつた。

最後にその同日に、悲劇の舞台となった御嶽山噴火の日と重なった。亡くなった方々への冥福をお祈りするとともに、あらためて山は神聖な場所だと、「時には突然姿を変えるのだ」ということを強く認識させられた。

2015年4月 長谷川 博亮